

No. 849

苦悩する社会党

3027

—第33回定期全国大会—

昨年暮の総選挙に大敗した社会党は党の命運をかけて、20日から東京の九段会館で再建党大会を開催しました。先に出された70年代の運動方針案で「絶交」を言い渡された反戦グループは、この大会を実力で粉砕しようと早朝から押しかけ、そのため党员たちと衝突、もみ合いで数人のけが人を出しました。機動隊の出動で反戦グループは一たん退散したものの、玄関前広場は夜おそくまで緊迫。一方場内では全代議員が「ろう城」して熱っぽい議論を戦かわし、焦点の新執行部は全員留任で一応のケリがつかしました。再建党大会はここ数年退潮ムードに押されっぱなしの苦悩する社会党の姿が浮き彫りされているようです。

売る気はあれど

2927

売って売って売りまくらねばならないセールスマン。
ある化粧品メーカーのセールスマン石引大健君は月、平均60万円以上の売り上げを誇っています。だがその彼もこのところ大きなスランプにみまわれ売り上げはさがる一方。
やる気と根性が直接自分の生活につながるとあって、極限状況の中でもっと強い精神力を養いなおうと会社の合宿に参加しました。滝にうたれ、座禅を組み、かぎりない情熱と自信を持って、70年代のセールス戦線に生き残ろうと懸命です。